



Document 13.JANUARY.2014

駅伝のまちの誇りを見せ 大会新記録出すも連覇ならず

第4回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会

選手紹介 ※敬称略 () は所属

監督 / 今村英明 (西小林中教諭)、古園讓二 (小林Jrアスリート) **コーチ** / 横山美和 (小林高校駅伝部監督)、田中美津枝 (西小林中教諭)、井手春好 (紙屋陸上)、甲斐啓介 (永久津小教諭) **選手** / 平野裕樹 (紙屋小6年)、菊池大和 (紙屋小6年)、田爪康喜 (野尻小6年)、深草駿哉 (永久津小6年)、田爪健悟 (野尻小6年)、高佐隆平 (東方小6年)、大山明海 (西小林小6年)、森岡栄弥 (東方小6年)、西村雅帆 (細野小6年)、加世田華心 (三松小6年)、森山静穂 (南小6年)、宮尾咲蘭 (細野小5年)、清水仁 (野尻中3年)、本村仁 (小林中3年)、片野翔梧 (紙屋中3年)、加藤勇人 (小林中1年)、谷原翔太 (野尻中3年)、手嶋杏丞 (西小林中2年)、新涼汰 (小林高3年)、廣末卓 (小林高2年)、上別府希一 (小林高1年)、川内亮太 (小林高3年)、轟木亜間 (小林高2年)、川添杏太 (宮崎日大高1年)、齋藤貴憲 (小林市役所)、池上聖史 (国士館大4年)、奥村隆太 (大分東明高教員)、松尾寛 (えびの自衛隊)、松元潤也 (西諸広域消防)、谷山裕亮 (野尻中講師)、大山和彦 (会社員)、山本正和 (東方中教諭)、古道昭式 (国分自衛隊)、下津佐善文 (会社員)、橋満光一 (自営業)、種田昇 (自営業)

タスキをつなぎ深めた絆 悔しさを糧に覇権奪還誓う

駅伝のまちの誇りをタスキに込め、新春の日向路を駆け抜けた選手たち。Aチームは2位、Bチームは7位と健闘しました。

区間賞獲得者にインタビュー

Aチーム3区 / 小林高2年 ひろすえ すぐる 廣末 卓選手



自分の区間では、逆転することが役目でした。しかし、調子が悪く、不安な気持ちでタスキを受け取りました。区間新ではありませんでしたが、悔いの残るレースになりました。次は、もっといい走りを見せられるようにしたいです。

連 覇を目指し、強い意気込みで臨んだ第4回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会。今年も小林市からは、選りすぐりのランナーで構成された2チームが出場しました。午前10時、号砲とともに選手たちがスタート。Aチームは、序盤は出遅れたものの、3区廣末選手が区間新の走りで見事に先頭の宮崎市チームと17秒差に。6区奥村選手も区間新と猛追しましたが、終盤の区間で差を縮められず2位でゴールしました。Bチームも、1区が7位でスタートすると、3区内選手で5位に浮上。その後、一時は10位まで順位を落としましたが、終盤の区間で粘りの追い上げを見せ、7位と健闘しました。大会を終え今村英明監督は、「悔しい。選手育成に力を入れ来年はリベンジしたい」と話しました。駅伝のまちの誇りを胸に力走した選手たち。覇権奪還に向け選手のみならず関係者も走り始めています。

Aチーム6区 / 大分東明高教諭 おくむら りゅうた 奥村 隆太選手



先頭に追い付くため、前半からペースを上げて走りました。そのため、中盤以降はオーバーペースになってしまい想定より10秒から15秒遅い記録でした。来年こそは、小林市の優勝に貢献しリベンジをしたいです。



1 Aチームアンカーの新選手無念のゴール 2 Bチームアンカーの川添選手 3 勢よくスタートするBチーム1区平野選手 4 Aチーム11区森山選手と12区新選手のタスキリレー 5 表彰を受ける合原選手と清水選手

